

一途一心、さて耳順になれたかな？

●朝のテレビで浦高応援団を見て！

今朝は孫娘・愛紗が早く起きてきたので、6時25～35分のテレビ体操に引き続きNHK・Eテレをかけていたところ、45分頃の「にほんごであそぼ」で聞き覚えのある声が…。そうなのです、浦高応援団が



浦高応援団〔浦和高校 HP より〕



力強い声で「花に嵐のたとえもあるさ さよならだけが人生だ」と繰り返していたのです。実は、3月14日(月)に、浦高同窓会会報『麗和』の編集会議で同窓会館・麗和会館の会議室に行ったところ、隣の部屋でこの場面の音収録の最中だったのです。収録の様子は、浦高のホームページに掲載されていますが、全国ネットのテレビで放映されるとちょっと嬉しいものですね。

NHKEテレの教養番組「にほんごであそぼ」【みんなで名文】のコーナーに出演します。放送予定日は、**4月11日朝(6時45分～6時55分 本放送)・夕(5時10分～5時20分 再放送) 4月25日(4月11日の同、再放送)**です。



昨年10月の浦高創立120周年記念式典後のアトラクションでは幕間にひょうきんな寸劇を演じてくれた応援団の皆さん、きっと素晴らしい思い出の一頁になると思います。**25日(月)に再放送**があるので、ぜひご覧ください。さて、素朴な疑問「なぜNHKが浦高応援団に出演依頼…？」ですが、応援団のHPに…。

* *

なぜ、浦高応援団に出演依頼があったのでしょうか。2月14日に行われました演技発表会「日輪の下に」について、NHKのニュースセンター845の中で、関東ローカルのニュースにおいて、浦和高校応援団が、映像と共に紹介されたことや、ホームページで紹介された浦高応援団の活躍している様子を見て判断されたようです。出演依頼があったのは、

みんなで名文のコーナーです。みんなで名文とはどのようなコーナーなのでしょう。元気な声で、みんなで一緒にリズムにのって、身体を動かしながら名文を朗唱します。大きな声を出すことで、元気が出たり、気持ちだけでなく体にも大きな影響を与えます。画面の先で一緒に声を出して元気になるというコーナーです。浦高応援団の元気な声で、聞いた子供たちや親御さんたちを応援する。一緒に声を出して元気になるという気持ちで、出演させていただきました。さて、どのように収録は進んだのでしょうか…。収録のため最初に来校された日は、3月14日学年末考査最終日の放課後でした。その日は、あいにくの雨。予定されていた場所が使えず、麗和会館の2階、会議室で収録は始まりました。音声は別採りです。それぞれのパートごとに、採録しました。その後、団旗を使って中庭で収録した方が良いのではないかということになり、急遽、日を改めて撮影することになりました。その様子がこちらです。本放送で放映されます。さて、どんな名文を、皆さんに披露するのでしょうか。本放送をお楽しみください。浦和高校応援団は、これからも浦高生と浦高に関わる人たち、更に未来につながる子供たちを応援します。浦高応援団をこれからもよろしくお願いします。【埼玉県立浦和高等学校HP、4月4日】

* *

私たちが隣の部屋で会議をしていますが、収録のために話すことができない時間もありましたが、テレビを見ることができ嬉しく思いました。

さて、4月8日の入学式での**杉山剛士校長**の式辞がHPにありました。気になった言葉を要約すると…。
 「人生で一度きりの高校時代に何をすればよいか。一つは『**立志=自分の志を立てよ**』。この三年間で、将来自分は何を学ぶのか、どのような職業につくのか、また、どのように生きていくのかを徹底的に考えて、進路先を決めることであります。『自分の志を立てる』ために、どうすればよいか。それが二つ目のお話で、『**浦高の教育を100%信頼し、本気で取り組み**』ということでもあります。視点を高く、視線を遠くに、そして視野を広く持つ。そうすると今までとは違った世界が見えてくる。浦高生活に訪れる数々の無理難題に対し、大変だなあと後ろ向きになるのではなく、仲間とともに楽しみながら挑戦し乗り越えていく感覚を、どうぞ身に付けてってください。結びに、本校OBで、天皇陛下の心臓手術の執刀医として選ばれた心臓外科医の**天野篤**さんが支えにしている言葉を贈ります。それは、『**一途一心**』、つまり一途に、一つの心でという言葉です。ひたすらにひたむきに一つのことに打ち込んでいると、これならできるというものが見つかります。」

この続きは浦高ホームページでご覧下さい。